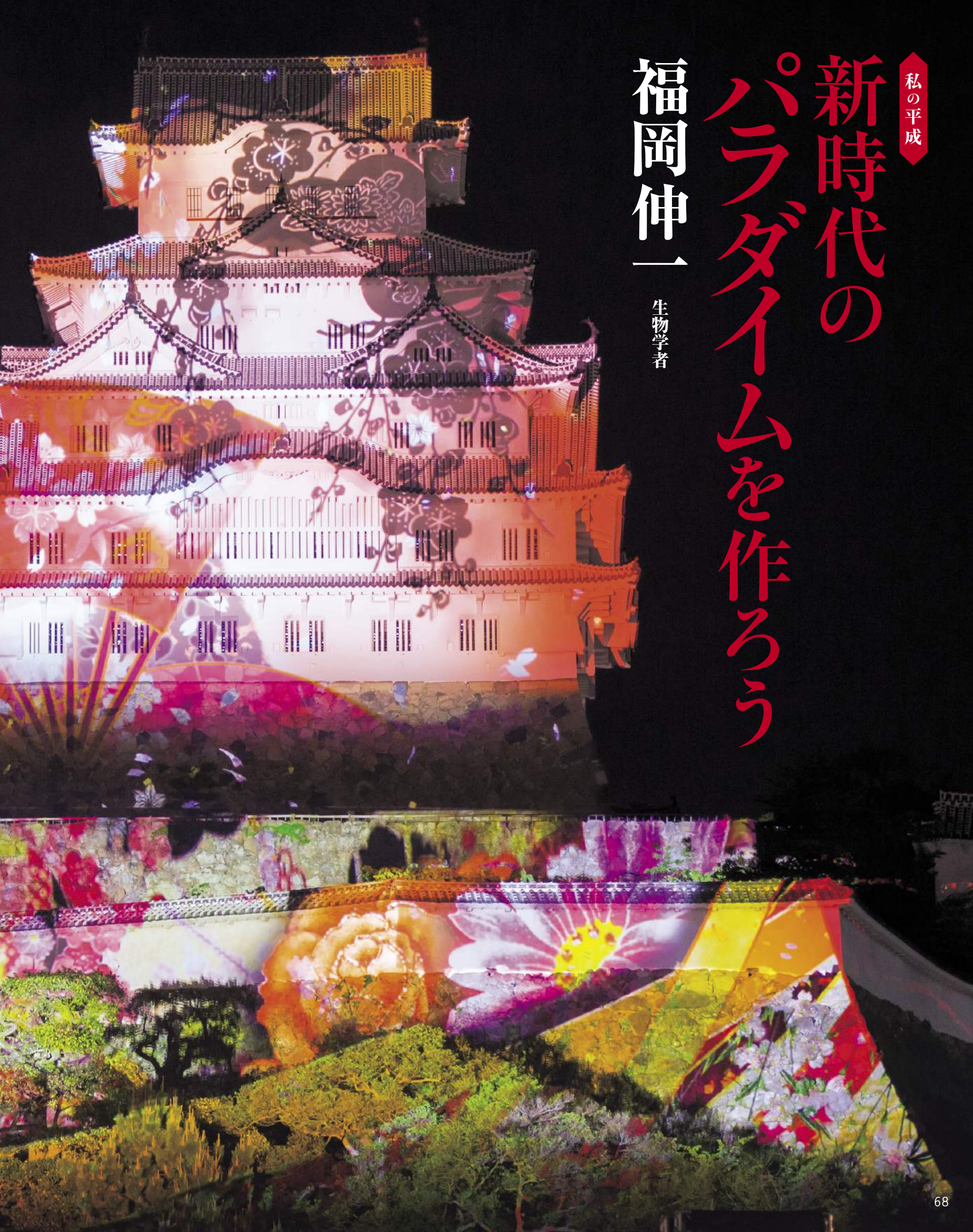


私の平成

新時代の パラダイムを作ろう

福岡伸一

生物学者



世界遺産・姫路城大天守の修理が完了した平成27(2015)年、5年半ぶりに白の輝きが甦った“白鷺城”に3Dプロジェクションマッピングが映し出された時の様子。古と最先端が重なり合う様を見ることとなった。また、この30年間で多くの歴史的建造物が「平成の大修理」として修復された。

福岡伸一 ふくおかしんいち
一九五九年、東京都生まれ。六五万部超えのベストセラー『生物と無生物のあいだ』や、生命の定義に新たな概念を提示した『動的平衡』など著書多数。ブックマイスターを育てる、福岡伸一の知恵の学校を開校中。

「平成」を生きた私たちの世代は、自分たちで自分たちのパラダイム(規範・枠組み)を作り得なかった。「昭和」の高度成長期・バブル期に乗り遅れつつ、きたるべき次の時代のAI(人工知能)万能説と、幼い頃からインターネットやパソコンがある環境で育った「デジタル・ネイティブ」世代の潮流に追い抜かれつつある。Never too late. どんなことでも始めるのに遅すぎることはないので、平成の世に作り得なかったパラダイムを、新元号の時代に向けて作ろう。

私の場合は、『動的平衡』の理論から考える「What is life?(生命とは何か?)」への思想をさらに究考したい。生物は、合成と分解を繰り返し、絶え間ない動きのなかで、「私」を保っている。動きながら平衡を保つ、その生命の神秘を探求したい。

